

醸造・発酵文化の残るまち 摂田屋の魅力を次世代に引き継ぐ。

先人たちが地域に残してくれた、様々な貴重な文化財を次世代に引き継いでいくことが求められています。しかし、それは単純に古いものごとを保存していく作業だけではありません。他地域の類似事例をトレースしてもうまくいくとは限りません。

独創的な感性を存分に発揮して人々を驚かせてきたであろう、旧機那サフラン酒製造本舗の創業者吉澤仁太郎は、既存の価値観にとらわれることなく、新しい取り組みを許容した歴史をつくり、その独特な世界観や哲学を残してくれています。

建築物や庭園、残された備品、生活用品などカタチあるものだけにとどまらない、その貴重な文化遺産ともいえる資産をどのように扱い、次世代へ引き継いでいくのかを考えていく必要があります。
(旧機那サフラン酒製造本舗しつらいに関するみちるべより)

旧機那サフラン酒製造本舗 米蔵

旧機那サフラン酒製造本舗敷地内に現存する蔵の1つ。市は情報発信・交流の拠点として整備を行い、令和2年度に新たな観光施設としてオープン。地域住民をはじめ、多くの方から利用されている。



長岡市都市政策課

〒940-0062 長岡市大手通2-6 フェニックス大手イースト8階
TEL●0258-39-2225 FAX●0258-39-2270
E-mail●toshisei@city.nagaoka.lg.jp

令和3年3月発行

長岡の 歴史薫る景観

麴の香り漂う 醸造のまち 摂田屋



旧機那サフラン酒製造本舗 米蔵 整備後 (R2.10 リニューアルオープン)



旧機那サフラン酒製造本舗 米蔵 整備前

醸造のまち 撰田屋 まち歩き散策マップ

江戸時代から続く、酒、みそ、しょうゆの蔵元が集まった醸造のまち撰田屋。旧三国街道をぶらりと歩くと麴やしょうゆの香りに包まれます。撰田屋地区には、長岡市内に40件ある国の登録有形文化財のうち、17件があります。歴史的建造物が多く残る、歴史のまちをぜひとも散策してください。



1 旧機那サフラン酒製造本舗

旧機那サフラン酒製造本舗には、10棟の建造物、庭園、石垣がある。これらの特徴的な意匠とその規模から、醸造のまち撰田屋のシンボルとなっている。専門家からは、約9,000㎡ある敷地内に、10棟の建造物などが現存していることに対する評価を受けている。

国の登録有形文化財

登録年月日：
H18.11.29（鍔絵蔵）
R3.2.4（鍔絵蔵以外の9棟の建造物と石垣）



長岡市景観重要建造物

指定年月日：H30.11.22



所在地：長岡市撰田屋 4-6-33 MAP-1



賑わう鍔絵蔵周辺



主屋と鍔絵蔵

醸造蔵

大正9年に建てられた土蔵造2階建棧瓦葺の建物。東側妻面に「吉」の鍔絵が掲げられている。昔はサフラン酒などの貯蔵に使われていた。



道具蔵

大正7年に建てられた土蔵造2階建棧瓦葺の建物。東側に蔵前が取り付き、外壁は縦板貼となっている。昔は製品の貯蔵や諸道具の保管に使われていた。



調整蔵

大正15年に建てられた木造2階建棧瓦葺真壁造の建物。梁間六間にクイーンポストトラスを施している。昔はサフラン酒などの調整に使われていた。



シチレン蔵

大正時代中期頃に建てられた土蔵造2階建棧瓦葺の建物。外壁1階部分は建築当初の波形鉄板貼となっている。昔は花火の製造に使われていた。



離れ座敷

昭和6年に建てられた木造2階建棧瓦葺の建物。幅広の廊下や階段は全てケヤキが使われるなど、資力を投じた建材で溢れている。昔は客間、もてなしの場に使われていた。



衣装蔵

大正5年に建てられた土蔵造2階建棧瓦葺の建物。扉口周囲には河上伊吉による鍔絵の秀作が残っている。昔は貴重品の保管に使われていた。



石垣

明治時代後期に築かれた亀甲積の石垣。県道側には約80mにも渡る石垣が施されている。



主屋

明治27年に建てられた木造2階建棧瓦葺の建物。玄関部と増築した本体部が一体となり、重厚な構えを演出している。昔は住居、女中部屋に使われていた。



米蔵

昭和時代初期に建てられた土蔵造平屋建棧瓦葺の建物。当時の柱などを活用した整備により、現在は新しい姿へ生まれ変わった。昔は米の保管に使われていた。



一号倉

大正15年に建てられた土蔵造2階建棧瓦葺の建物。東側妻面に「吉」の鍔絵が掲げられている。昔は住居などに使われていた。



鍔絵蔵

大正15年に建てられた土蔵造2階建棧瓦葺の建物。窓扉などには特色ある鍔絵が施されている。昔は店舗、事務室に使われていた。



第1回都市景観賞受賞



10棟の建造物と石垣の
上空から見た位置図

2 吉乃川 常倉

大正12年に建てられた鉄筋コンクリート造りで天井に鉄骨が三角形で組まれた「トラス工法」が特長的な建物。かつては酒の瓶詰作業が行われていた「常倉（じょうぐら）」が、令和元年度に観光施設「酒ミュージアム醸蔵（じょうぐら）」としてリニューアルされた。

国の登録有形文化財

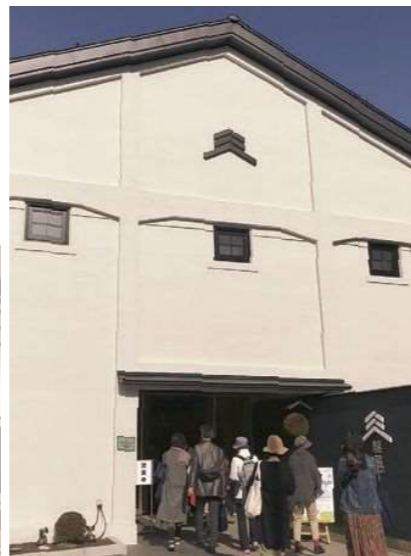
登録年月日：H23.7.25



所在地：長岡市撰田屋 4-8-12 MAP-2



常倉内部



常倉正面

3 星六 土蔵

土蔵造2階建切妻造、置屋根式の鉄板葺の建物。星野本店から移築し、明治後期に曳家された蔵。1回目の曳家で現在の店舗兼主屋の場所に、2回目の曳家で現在の場所へ移った。

国の登録有形文化財

登録年月日：H25.3.29



所在地：長岡市撰田屋 4-5-11 MAP-3



店舗兼主屋



土蔵正面

4 長谷川酒造 主屋

明治19年に建てられた木造2階建切妻造、棧瓦葺の建物。外壁は彫子下見板張で上部は漆喰塗を施し、妻壁に二重の梁組を表すなど、風格ある構えを見せる。大正時代に建てられた翹室のレンガの外壁は当時の姿のまま残っている。

国の登録有形文化財

登録年月日：H25.3.29



所在地：長岡市撰田屋 2-7-28 MAP-4



翹室



主屋正面

5 星野本店 三階蔵

明治15年に建てられた土蔵造3階建切妻造、棧瓦葺の建物。蔵入口は、当時と同じ姿で残っている。星野本店正面入口脇の三十石の仕込み桶は、昭和30年代後半まで使用していた醤油の桶。醸造のまちのランドマークとして、観光客を出迎える。

国の登録有形文化財

登録年月日：H25.3.29



所在地：長岡市撰田屋 2-10-30 MAP-5



正面入口



三階蔵

6 旧三国街道

蔵元の建物の間を通る街道。撰田屋地区では旧三国街道と呼ばれ、地元の方から親しまれている。歩くと麴の香りに包まれ、道中には道しるべ地蔵などがある。 MAP-6



賑わう旧三国街道



歴史の趣を残す旧三国街道

7 越のむらさき 主屋・土蔵

明治10年に建てられた木造2階建の主屋と土蔵造2階建の土蔵。蔵の前のレンガ造りの煙突は、190年続く醤油蔵の看板であるとともに、撰田屋のランドマークとして古くからまちを見守ってきた。

国の登録有形文化財

登録年月日：H25.3.29

第1回都市景観賞受賞



所在地：長岡市撰田屋 3-9-35 MAP-7



主屋正面



レンガ造りの煙突と土蔵